



9領域125項目を 3：よく当てはまる、2：ほぼ当てはまる、1：当てはまらないの3段階評価した。

I. 教育理念・教育目的・目標 (2.4)

教育理念・目的・目標については、明文化し、学生便覧やスクールガイド等に記載し、学生への周知を図っている。また、学年毎に到達目標を設定し、その目標に近づけるように各学生が目標を挙げ、学年毎に評価できるようにしている。

II. 教育課程経営 (2.3)

教育理念に基づき、目的・目標のもと、科目・単元を構成し、年間の教育計画を立てている。学生には、学生便覧だけでなく、シラバスを提示し、単位履修方法について、学生・教員双方に理解できるようにしている。

教員自らが成長するための自己研鑽のための研修には参加しているが、相互間での研鑽にまでは至らない。また、教育課程を評価する体系までは充分整えられてはいない。ともに今後の課題である。

入学生確保のため、教育情報についてはホームページ等を活用し、情報提供している。また、進学ガイダンスに参加し、広報活動に努めている。

III. 教授・学習・評価過程 (2.2)

シラバスに科目の概要、学習目標、授業形態等を明示している。演習・技術試験に関しては、全教員で担当し、学生にとって公平となるように評価している。また、授業評価は、担当教員各々が評価して次年度に反映するように努力している。実習は、教員を各施設に配置し、指導者との連携を密に図り、学生の学習支援体制をとっている。また、実習評価は学生が目指す方向を理解できるようルーブリック評価を取り入れている。卒業時の到達状況については、アンケートを取り、評価している。

IV. 経営・管理過程 (2.1)

設置主体は周防大島町である。開校19年目となり、備品等の破損が生じるため、設備・備品等の整備補充が必要となる。今年度はモデル人形一体と分娩監視装置シミュレータを新規購入した。将来構想のもと計画的に整えていかなければならない。

学習困難者には、学年担当教員を中心に対応している。保護者へは前期・後期の成績の通知だけでなく、実習

等の状況についても情報提供し、学校と連携してサポートできるように取り組んでいる。また、学校カウンセラーは常駐ではないため継続しての利用者は少ない。

V. 入学 (2.0)

入学希望者に当校の教育理念や方針が分かるようにホームページ、スクールガイド、募集要項等に明記している。また、入学者選抜の方法についても、社会人入試・推薦入試・一般入試等、幅広く受け入れをしているが、少子化・大学進学化傾向にて入学生の確保が徐々に難しくなっている。しかし、定員数はほぼ満たしている。

VI. 卒業・就職・進学 (2.0)

就職については、今年度卒業生のうち35%が周防大島町立病院へ就職した。山口県内への就職が全体の85%を占める。残り15%が県外であった。進学希望者はなかった。

VII. 地域社会・国際交流 (2.0)

地域で行われている行事(海の市)に参加することや学校祭へ地域の住民へ参加を呼びかけて交流を持つことで、地域住民と交流を図れるよう工夫している。町内外でのボランティア活動に積極的に参加し、地域社会とのつながりを密にし、社会貢献する姿勢を養っている。

また、国際的視野を広げるためにハワイ研修を取り入れ、異文化を知る機会としている。海外からの留学生の受け入れについての整備は十分に整っていない。

VIII. 研究 (2.0)

教員として研究の必要性は理解し、各自が取り組む姿勢は持っている。教員相互が協力し合うことはできる職場環境ではあるが、研究に費やす時間の確保や研究活動を助言・検討するシステムが整えられてはいない。各教員の研究への取り組み、研究活動を支援するシステムの構築が課題である。